

典のつづり

o Domingo N.º 54

PANIB 発行 21-12-2025

待降節 第四主日

この聖体祭儀は、主が私たちの前にまします近づいてこられるという希望を抱き続けるよう、私達を励まします。キリストの弟子として召されてお恵みを受け入れ、マリアとヨゼフの模範に倣い、主が来てくださるよう心を開きましょう。この聖年に歩んできた決意を新たにすることが出来ますように。

入祭唱

天よ、露をしたたらせ、雲よ、義人を降らせよ。地よ、開いて救い主を生み出せ。

集会祈願

恵み豊かな父よ、わたしたちの心にいつくしみを注いでください。みことばが人となられたことを信仰によって知ったわたしたちが、御子の苦しみと死を通して

復活の栄光にあずかることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

聖書朗読の解説

イザヤが生きた紀元前八世紀は動乱の時代。人間の野心と打算が渦巻く社会のただ中で、信仰に生きるこ

イザヤの預言（イザヤ7・10―14）

「その日、主はアハズに向かって言われた。『主なるあなたの神に、しるしを求めよ。深く陰府の方に、あるいは高く天の方に。』」
しかし、アハズは言った。
「わたしは求めない。
主を試すようなことはしない。』」
イザヤは言った。

「ダビデの家よ聞け。

あなたたちは人間に

もどかしい思いをさせるだけでは足りず

わたしの神にも、もどかしい思いをさせるのか。

それゆえ、わたしの主が御自ら

あなたたちにするしを与えられる。

見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み

その名をインマヌエルと呼ぶ。」

答唱詩編 ○典 158○2 ○3 ○4

(詩編 24・3+4、5+6、8+10)

先・門よ、とびらを開け、永遠の戸よ、上がれ。

栄光の王が入る。

全・門よ、とびらを開け、永遠の戸よ、上がれ。

栄光の王が入る。

だれが神の山に登れよう。

だれが聖所に立てよう。

それは手に汚れなく、心の清い人、

空しいことに心を向けず、

偽りを口にしない人

全・門よ、とびらを開け、永遠の戸よ、上がれ。

栄光の王が入る。

その人は神に祝福され、

救いの恵みを受ける。

彼はヤコブの一族、

神を求め、その顔を慕う。

全・門よ、とびらを開け、永遠の戸よ、上がれ。

栄光の王が入る。

栄光の王とはだれか。

勝利を得られる力ある神。

栄光の王とはだれか。

すべてを治める神、神は栄光の王。

全・門よ、とびらを開け、永遠の戸よ、上がれ。

栄光の王が入る。

第二朗読 (ローマ 1・1—7)

使徒パウロのローマの教会への手紙

キリスト・イエスの僕、神の福音のために選ば

れ、召されて使徒となったパウロから、「兄弟の皆さんへ。」この福音は、神が既に聖書の中で預言者を通して約束されたもので、御子に関するものです。

御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、聖なる霊によれば、死者の中からの復活によつて力ある神の子と定められたのです。この方が、わたしたちの主イエス・キリストです。わたしたちはこの方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くために、恵みを受けて使徒とされました。この異邦人の中に、イエス・キリストのものとなるように召されたあなたがたもいるのです。神に愛され、召されて聖なる者となったローマの人たち一同へ。わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

おとめがみごもつて男の子を生み、その名は「インマヌエル」と呼ばれる。

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

マタイによる福音（1・18―24）

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によつて身ごもっていることが明らかになった。夫ヨセフは正しい人であったので、マリヤのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリヤを迎え入れなさい。マリヤの胎の子は聖霊によつて宿つたのである。マリヤは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」このすべてのが起こつたのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。「見よ、おとめが身ごもつて男の子を産む。」

その名はインマヌエルと呼ばれる。」

この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおり、妻を迎え入れ「た。」

信仰宣言

共同祈願

司・兄弟姉妹の皆さん、マリアから生まれたイエスは、神の忠実さの偉大な証です。喜びをもって、主に私たちの願いを捧げましょう。

1・主よ、あなたは人間の弱さを身に受けられました。あなたの愛、優しさ、慈悲に、私たちが倣うよう導いてください。

全・主イエスよ、来てください。

2・主よ、あなたは世界に存在する者の創造主であり、統治者たちが、清らかで、純真な心、そして正直な心で行使するように、励ましてください。

全・主イエスよ、来てください。

3・人々への愛のために、この世に遣わされた主よ、あなたの御国のために寛大な心で奉仕する人々を育ててくださいますように。

全・主イエスよ、来てください。

4・私達を聖性へと召してくださった主よ、希望の巡礼者のように、私たちが日々を聖なる道を歩むことが出来ますように、導いてください。

全・主イエスよ、来てください。

司・神よ、私たちの願いを聞き入れ、世の光、人類の

救いである貴方の御子を喜びを持って迎えることができるよう私たちの心を準備してください。私たちの主キリストによつて。アーメン。

奉納祈願

恵み豊かな父よ、あなたは聖霊を送り、おとめマリアを恵みで満たしてくださいました。同じ聖霊によつて、この祭壇のささげものをとうといものとしてください。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

拝領祈願

全能の神よ、秘跡によつて救いの希望を新たにしましたわたしたちが、日々信仰と愛を深め、降誕祭をふさわしく祝うことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。